

(社) 日本時計学会
平成 19 年度 事業計画書
(平成 19 年 1 月 1 日から平成 19 年 12 月 31 日まで)

I. 事業計画

1. 研究会、学術講演会等の開催

(1) 学術講演会

マイクロメカトロニクス講演会を9月上旬、中央大学で開催する。
研究論文発表20件程度を予定する。

(2) 研究会

時計及び時計応用技術に係わる最先端のテーマを2件選定し、専門の講師を招いての研究会を、3月及び11月の2回中央大学理工学部教室で開催する。

(3) 見学会

会員の研修のため、産業界、特に時計技術に関連する分野において顕著な業績を挙げている工場、研究機関等の見学会を6月に行なう。

2. 時計及び時計応用技術に関する研究調査分科会の設置

時計及び時計応用技術に関する調査研究を行うため、特定のテーマを設定して3つの分科会を発足させる。分科会メンバーは10～20名程度とする。年4回程度の研究会会合を開催し、研究調査の成果は報告書または学会誌の記事によって報告する。

3. 学会誌、学術図書等の刊行

(1) 学会誌「マイクロメカトロニクス」を下記のとおり年2回発行する。

Vol. 51, No. 196 : 平成19年 6月、400部

Vol. 51, No. 197 : 平成19年12月、400部

(2) 学術講演会講演論文集を年1回発行する。

マイクロメカトロニクス学術講演会講演論文集 : 平成19年9月、100部

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

青木賞表彰委員会を設け、平成18年度の日本時計学会誌「マイクロメカトロニクス」に掲載された研究論文の中から、当学会初代会長青木保博士を記念した第41回青木賞受賞の対象として研究論文を1編選考する。

マイクロメカトロニクス学術講演会の際、第41回青木賞贈呈式を行なう。

5. 内外関係機関等との交流及び協力

①米国 National Institute of Standards and Technology、National Association of Watch and Clock Collectors、LIB. of Congress、英国 The British Library、Michael Faraday House、LIB. of Japanese Science & Technology、ロシア The Inst. of Scientific & Technical Informatin(VINITI)、ドイツ Universitats-und Technische Informationbibliothek との機関誌等の交換を行なう。

②研究会を日本機械学会、応用物理学会、電子情報通信学会等関係学会と協賛して開催する。

II. 会議に関する事項

1. 理事会を4回以上開催する。
2. 通常総会を2月及び12月に開催する。
3. 運営委員会を4回程度開催する。
4. 各研究調査分科会を4回程度開催する。
5. 企画委員会を3回程度開催する。
6. 青木賞表彰委員会を2回程度開催する。
7. 事業委員会を4回程度開催する。
8. 出版校閲委員会を4回程度開催する。
9. 庶務会計委員会を2回程度開催する。

(社)日本時計学会 平成18年12月15日総会にて承認
 平成19年度収支予算書
 (平成19年1月1日～平成19年12月31日)

科目	平成19年度予算	平成18年度予算	差異	備考
I 収入の部				
1 基本財産運用収入	300	200	100	
運用財産利息収入	150	100	50	
基本財産利息収入	150	100	50	
2 入会金収入	2,000	1,400	600	
入会金	2,000	1,400	600	200円X10人
3 会費収入	3,260,000	3,720,000	-460,000	
正会員	1,000,000	1,150,000	-150,000	200人x5,000円
学生会員	10,000	15,000	-5,000	10人x1,000円
賛助会員	2,250,000	2,500,000	-250,000	90口x25,000円
4 事業収入	310,000	163,600	146,400	
事業収入(研究会)	40,000	30,000	10,000	事業収入(研究会参加者)
事業収入(講演会)	150,000	100,000	50,000	事業収入(講演会参加者+協賛金)
広告収入	120,000	33,600	86,400	広告(@15,000x4件/1号x2回)
5 雑収入	100,000	150,000	-50,000	
雑収入	100,000	150,000	-50,000	論文複写、過年度会費
当期収入合計(A)	3,672,300	4,035,200	-362,900	
前期繰越収支差額	500,000	80,000	420,000	
収入合計(B)	4,172,300	4,115,200	57,100	
II 支出の部				
1 事業費	2,270,000	2,090,000	180,000	
会議費	50,000	50,000	0	会場費、企画委員会他
学術講演会費	250,000	300,000	-50,000	年1回(講演料、アルバイト代、論文集制作費他)
研究会費	80,000	100,000	-20,000	年2回(講演料、講師旅費、アルバイト他)
見学会費	20,000	20,000	0	下見、礼品
調査研究費	210,000	50,000	160,000	3分科会x70,000円
通信運搬費	180,000	100,000	80,000	会誌送付(年2回)+会費請求+委員会開催通知他
消耗品費	150,000	70,000	80,000	事務局他
印刷製本費	700,000	700,000	0	会誌印刷(年2回)
出版編集費	150,000	150,000	0	編集担当、校正担当、査読料、原稿料
旅費交通費	380,000	350,000	30,000	理事運営委員会、事務担当者、官公庁
青木賞費	50,000	50,000	0	選考・表彰委員+委員長・幹事への謝金+賞品代
雑費	50,000	150,000	-100,000	振込・振替各種手数料
2 管理費	1,500,000	1,812,000	-312,000	
事務人件費	900,000	650,000	250,000	事務担当手当(84万円)+HP制作維持費(6万円)
業務委託費	600,000	1,162,000	-562,000	事務局用部屋借料
3. 予備費	50,000	100,000	-50,000	
予備補	50,000	100,000	-50,000	
当期支出合計C	3,820,000	4,002,000	-182,000	
当期支出差額(A)-(C)	-147,700	33,200	-180,900	
次期繰越収支差額(B)-(C)	352,300	113,200	239,100	